

祝 辞

松山東雲女子大学、松山東雲短期大学ご卒業おめでとうございませう。

松山東雲学園同窓会を代表いたしまして心よりお祝い申し上げます。

ご家族の皆様におかれましては待ち望まれたこの良き日、あらためまして心よりお慶び申し上げます。

本日は、松山東雲学園を卒業される皆様が、新しい一歩を踏み出す記念すべき日となります。

学生生活ではたくさんの知識を得、また思い出を作られたことと思います。松山東雲学園は創立一三三年となります。信仰・希望・愛の建学の精神の基、女性の教育に特化して今日まで参りました。皆様が受けた教育環境は、これから向かう社会に、また人生において大いに意味があると思います。

今、時代は、女性がいかに活躍するかを待っています。しかし、未だ日本社会は先進国の中でも、女性の地位は低いほうに挙げられています。地位向上は遅々として進んでいません。そんな中、皆さんは社会の荒波の中に漕ぎ出す船のよう

な存在かもしれません。しかし冒険の向こうに新しい未来が待っています。何が問題なのかしつかり見据え、改革者となって立ち向かっていただきたいと思います。

時代はIT社会となり大きく変化しています。また、昨今は、自然災害や今回のような世界的感染など予期せぬ出来事に、自分自身の身を守るための知恵や工夫が必要です。また、人生一〇〇年という超高齢社会も到来しており、この先の人生設計はこれまでの社会システムでは立ち行かなくなりません。新しい仕組みや、生き方を求めなければなりません。

男女が一緒になって同等に知恵が発揮できるそんな社会でなければ、この大きな変革や試練に立ち向かえないと思います。そこで、松山東雲学園の女性教育と自由な校風の基で学ばれた皆様には、豊かな発想で、希望ある人生を目指して歩んでいただけると期待するところでございます。

これから、卒業生の皆様は、松山東雲学園同窓会終身会員となります。同窓会は、会報誌「雪びら」の発行、「お山のバザー」や「クリスマスの集い」などの行事を行っています。互いの親睦と母校の発展に寄与することを目的とし活動しています。お気軽にご参加ください。住所変更などお知らせ

くだされば幸いです。同窓会からは恒例の卒業記念品を贈らせていただきました。

これから先、末永く松山東雲学園同窓生として共に歩んでまいりましょう。

皆様の前途に祝福がありますように、心よりお祈り申し上げます。簡単ではありますが、お祝いの言葉とさせていただきます。

二〇二〇年三月十三日

松山東雲学園同窓会会長 篠崎 英代